資料２

（平成 30 年 9 月 5 日開催
平成 30 年度第 1 回千葉県後発医薬品
安心使用促進協議会提出資料）

平成 30 年度上期の取組について

（全国健康保険協会千葉支部）

１．加入者向けの取組

（１）電車中吊り広告の実施

○ 加入者に対するジェネリック医薬品に関する理解及び使用促進を広く広報するために電車中吊り広告を実施。

掲載路線	内房線、外房線、総武本線、成田線、東金線、鹿島線
掲載期間	平成 30 年 8 月 1 日～8 月 31 日
枚数	B3 ワイド（縦 36.4ｃｍ × 横 103ｃｍ）、450 枚（１車両１枚）
稼働本数	392 本／日（特急・快速列車を除いた千葉駅を始発とする各駅停車に掲載）
利用客数	約 20 万人／日

（２）ジェネリック医薬品軽減額通知の実施

○ 平成 30 年度は 8 月 31 日に第 1 回目を発送（第 2 回目については 31 年 2 月を予定）

・千葉支部の送付対象者数：94,074 名（全国で約 371 万名）

・対象者：20 歳以上の協会けんぽ加入者

医科レセ 600 円以上、調剤レセ 50 円以上安くなる方

がん治療薬、精神疾患薬、HIV 治療薬等は除外

○ また、ジェネリック医薬品軽減額通知の同時期発送について健康保険組合連合会千葉連合会に協力依頼を実施。千葉県内の健康保険組合の約 6 割より同時期発送について協力・検討いただけるとの回答をいただいた。今後、他の保険者においても同時期発送に協力をお願いしたい。

（参考）平成 29 年度実績

		送付者数	切換者数	切換率	軽減効果額（月）	切替者一人当たり軽減効果額
第 1 回（H29.8）	千葉	89,546 人	24,064 人	26.9%	0.4 億円	1,728 円
	全国	3,579,162 人	981,835 人	27.4%	15.6 億円	1,587 円
第 2 回（30.2）	千葉	86,390 人	28,192 人	32.6%	0.6 億円	1,965 円
	全国	3,455,431 人	1,166,948 人	33.8%	20.7 億円	1,776 円

（３）その他

○ 協会けんぽが発行している各種広報紙への掲載、ジェネリック医薬品希望シールの配布

２．医療機関・薬局向けの取組

（１）一般名処方の推進

○ ジェネリック医薬品の使用促進には一般名処方の拡大が効果的となるため、健康保険組合連合会千葉連合会と連名で千葉県あてに一般名処方の推進に係る要望書を提出。要望書を踏まえ、千葉県より関係団体あてに一般名処方の推進に関する依頼書を発出いただいた。

（２）薬局別ジェネリック医薬品使用割合通知の送付

○ 保険薬局ごとのジェネリック医薬品使用割合等を掲載した通知を送付することで、自薬局の傾向や立ち位置を確認いただくことで、更なるジェネリック医薬品の使用促進を図ることを目的に実施。

○ 平成 30 年 8 月 24 日に千葉県内の保険薬局（2,241 件）に送付

３．平成 30 年度下期の取組について

○ ジェネリック医薬品の更なる使用促進を図るため、協会けんぽ千葉支部では以下の取組の実施を検討しているので、ご協力をお願いしたい。

・ジェネリック医薬品使用促進セミナーの開催

※薬剤師を中心とした医療機関関係者を対象

・医療機関や薬局への訪問

※ジェネリック医薬品の使用促進や現状の問題点等を把握するため